

ウィークリー・ブレッド・オブ・ライフ
(2024年10月28日(月)～11月3日(日))

岸和田聖書教会
牧師 栗原純人

「ブレッド・オブ・ライフ」とは「いのちのパン」(ヨハネ 6:48)。「わたしはいのちのパンです」と言われるイエス・キリストさまをみことばによって食しましょう。今日一日の力です。以下の手順を参考に聖書を読みましょう。

1. 静まります。「しかし私は 義のうちに御顔を仰ぎ見 目覚めるとき 御姿に満ち足りるでしょう。」(詩篇 17:15)
2. 声に出してその日の聖書日課を読みます。
3. 気づいたこと、わからないことなどをノートに箇条書きし、その後『みことばの光』、このブレッド・オブ・ライフの文章を読みます。わかったことがあったら、さらに書いてみましょう。
4. もう一度、聖書日課を読みます。違う響きがあるでしょうか？
5. 祈りましょう。実際に声に出して。そして祈りの中心部分を書いてみましょう。一日の終わりに、今朝の聖書を思い起こし、みことばがどのように生きたか、思い巡らしましょう。

10月28日(月)

今日の聖書日課：イザヤ 34:1～17

エドムの川はピッチに、その土は硫黄に変わる。その地は燃えるピッチになる。

イザヤ 34:9

「ピッチ」、「硫黄」は、火のさばきを表わしています。これは、あのソドムとゴモラへのさばきを思い起こさせます(創世記 19:24)。そのさばきはエドムへ。アッシリアやバビロンではないですが、エドムもまた、主の民を苦しめた民族。そのエドムを主はさばかれると言われていています。しかし、これを見て主の民は高ぶってはいけません。むしろ、自分たちもエドムと同じく主にさばかれるべき罪人であることを認め、この神を恐れるべきなのです。

「祈り 主よ、間違ったことをしている人々を打ち破ってくださいと願い求める時、思い出させてください。私たち自身が神の助けにより救われた者であることを。」(『みことばの光』10月号)

10月29日(火)

今日の聖書日課：詩篇 61:1～8

私の心が衰え果てる時 私は地の果てから あなたを呼び求めます。どうか 及びがたいほど高い岩の上に 私を導いてください。

詩篇 61:2

心が衰え果てる、心が折れそうなとき、そのときこそ主を呼び求めるとき。主を呼び求めるときに心に力が与えられます。「及びがたいほど高い岩の上に 私を導いてください」という発想が生まれます。心が折れそうなときには考えもつかないことが。心が衰え果てるのは、あなたが主を呼び求めるために備えられた状況なのです。

10月30日（水）

今日の聖書日課：詩篇 62：1～12

私のたましいは黙って ただ神を待ち望む。私の救いは神から来る。

詩篇 62：1

神を待ち望む姿勢。それは黙るということ。うつむくのではなく、天を見上げ、主を見上げ黙るのです。そのときこそ、心騒がせているとき、慌てているときにはわからない主の救いを見出すことができるのです。「決して揺るがされない」と告白するに至るのです。

10月31日（木）

今日の聖書日課：詩篇 63：1～11

神よ あなたは私の神。私はあなたを切に求めます。水のない 衰え果てた乾いた地で 私のたましいは あなたに渴き 私の身も あなたをあえぎ求めます。

詩篇 63：1

このように祈る者だけが、やがてこのようにさせられます。すなわち「脂肪と髓をふるまわれたかのように 私のたましいは満ち足りています。喜びにあふれた唇で 私の口はあなたを賛美します。」(5)。あなたのたましいは今、どこに向いていますか？

11月1日（金）

今日の聖書日課：詩篇 64：1～10

正しい人は主にあって喜び 主に身を避けます。心の直ぐな人はみな 誇ることができます。

詩篇 64：10

「正しい人」とは「心の直ぐな人」。主の前に正直な人。主に身を避ける人。64 篇においてダビデは敵の舌、すなわちことばによって弱りましたが、主に身を避けます。「神よ 私が嘆くとき 私の声を聞いてください。 敵の脅かしから 私のいのちを守ってください。」(1)。この1 節がスタートですが、ゴールが冒頭に聖句です。「誇る」とは自分を誇るのではなく、主を誇るのです。まっすぐに主に嘆くその向こうには喜びの賛美があります。

11月2日（土）

今日の聖書日課：詩篇 65：1～13

数々の咎が私を圧倒しています。しかし 私たちの背きの罪を あなたは赦してくださいます。

詩篇 64：3

64 篇の最初の段落は実に静かさと穏やかさに満ちています。私はこの箇所から作られた歌を聞いたことがあります。その歌もまたメロディアスが静かな楽曲でした。しかし、ダビデの心の中は冒頭の聖句のようでした。彼は自分の罪、咎のゆえに心を騒がせていました。自分の咎が彼を圧倒していたのです。しかしダビデの背きを、主は赦してくださいました。だからこそ、その確信があるからこそ、ダビデは主を見上げ、静かに主に賛美を献げることができたのです。

あなたもまたダビデと同じ心で主を賛美することができます。

11月3日（日） 今日の聖書日課（礼拝説教箇所）：イザヤ 35：1～10 「ここに道がある」

礼拝の中では聖餐式を執り行います。みことばを聞いた後で、主の晩餐にともにあずかりましょう。